

全学での検討が必要な課題に対する検討結果一覧

8. 図書館及びICTに関すること

No	全学での検討が必要な課題	関連する点検・評価の項	特記事項	点検を行った全学組織・部局名	対応予定
1	全学的にDXを推進する体制の整備	8-1-1		学術情報基盤図書館	令和4年5月9日付け「本学におけるDX推進に向けたDX推進機構（仮称）の設置について（経営企画推進機構長（学長）」を受け、担当理事のもとで、本学のデジタル技術を活用した企画・業務の見直しの提案、ポリシー策定など、DX戦略を担う拠点として、令和4年10月1日に「高知大学DX戦略本部」を設置することを役員会で決定した。（第451回役員会：令和4年9月22日開催）
2	電子ジャーナル10パッケージ購読維持の検討	8-1-2	教育研究上、必要不可欠の資料であるが、予算上の課題がある	学術情報基盤図書館	学術情報基盤図書館は、各学系・部門の教員等による電子ジャーナル専門部会を設置し、契約形態の変更による購読金額の抑制やコストパフォーマンスの観点から踏まえた契約見直しに係る素案を策定する。見直しにあたっては、論文のオープンアクセス（OA）化の動きや、OA化の広がりに伴う電子ジャーナルの新たな契約方法等、社会的な動向を注視しつつ、コスト削減に向けた情報収集や、研究者の電子ジャーナル利用状況等の定期的な把握を行う。 また、予算部局は、契約見直しに係る素案が予算の観点から支援可能か、また、必要があれば、予算の範囲内での素案となるよう、両者の協議のもとで実現可能な計画立案を行い、本課題に対応する。
3	本学におけるオープンサイエンス方針の策定	8-1-2	研究推進と連携した取組が必要	学術情報基盤図書館	理事（研究・医療・評価・IR担当）が中心となり、高知大学のオープンサイエンス方針策定に必要な情報収集を行っており、対応の検討を行っている。